

みどりの丘

文責 二本松市立新殿小学校長 高松宏光

スマイルいっぱい(*^▽^*)【スポーツフェスティバル】!

親チャレ(3・4年生) 3年K. Kさん

私が「女の子」のカードをひいて、お母さんが「半そでを着た」をひいたので、その人が、どこにいるのかわかりませんでした。周りを見ていたら見つけたので、急いでその人のところへ行きました。ゴールしたら4位になりました。楽しかったです。



親チャレ(1・2年生) 2年K. Sさん

楽しみだったけど、ちょっときんちょうしていました。赤のカードをとったけれど、お母さんが「大きいパンツとって!」と言っていたのでよかったです。いっしょに走り、フラフープをくぐったり、お母さんといきをあわせたりして1位になりました。うれしかったし、楽しかったです。



親チャレ(5・6年生) 5年Y. Kさん

僕は、ボールを投げて的をたおすというものをやりうました。それを一番に終わらせ、最後の二人三脚をお母さんといきを合わせながらできて、最高に楽しかったです。一位になれたのは、お母さんのおかげです。



親子「玉入れ合戦」 1年Y. Hさん

いっぱい投げたよ。いれるのがむずかしかったけど、ちょっとはいったよ。みんなでやってたのしかったよ。おかあさんもがんばってたよ。かたづけで、いっぱいはいこんで、かててうれしかったよ。



親子「大玉転がし」 4年R. Sさん

心に残ったことが二つあります。一つ目は、親に勝ったことです。風が強かったので、うまく玉をコントロールできませんでした。二つ目は、勝つ気持ちが強くて、コーンを何回かたおしてしまいました。来年は「パン食いきょうそう」をやりたいです。



縦割り班対抗「チャレラン大会」 6年Y. Hさん

僕はチャレランで輪投げを担当しました。正直、本番で僕たちの番がくると不安な気持ちでいっぱいでした。放送原稿は練習どおり上手に言うことができました。みんなルールを分かってくれて、とても楽しくできたと思います。小学校生活最後のチャレラン大会も楽しく、安全にできました。



考えさせてから教える

5月半ばの朝、3・4年生が、校長室前の畑に「ナス」や「トマト」「スイカ」などの苗を植える活動にやってきました。置いてあるいろいろな苗から、子どもたちが好きなものを選んで手に取りました。そこで担任の川村先生が「(手に取った苗が)ナスだと思う人?」と問いかけました。自分の苗を見て、数人の子が手を上げました。川村先生は、さらに「匂いや形を見てごらん。」という言葉投げかけました。



子どもたちは手にしてる苗をじっくりと見直し、苗を鼻に近づけ、匂いを嗅ぎはじめました。そこではじめて、ナスの苗の特徴を教え始めました。

ちょっとしたことですが、すぐに教えず、五感を使うことを促した素晴らしい発話でした。子どもたちは、他の苗との違いなどにも興味をもっていくはずで、「考えさせてから教える」ことが大切なのです。朝から、素敵な場面を目にしました。

※ 用務員の朝倉さんは、学校の花壇や畑の世話のため、ご自宅から農機具を運んで様々な下準備を行ってくださっています。子どもたちの学びや安全を、様々な場面で支えてくださっています。

資料で深める

校舎廊下に掲示されている社会科の資料です。学習した都道府県の名前や位置、歴史上の人物について、子どもたち自らが興味をもって学べるような仕掛けがしてあります。

また、養護の吉野先生が1・2年生に行った【感染症の予防をしよう】の学習では、「話している時」「咳をした時」「くしゃみをした時」に分け、ひもを使って飛沫の距離を目で確かめられるようにしていました。くしゃみでは、5m程度先まで飛沫が飛ぶのですが、ひもの長さで距離を実感できた子どもたちからは、驚きの声が聞こえてきました。



教員それぞれが創意工夫し、子どもたちの理解を深める努力をしています。



指導力の向上を

5月31日(水)二本松市教育委員会の指導主事が学校を訪問し、授業改善を目的とした研修会が行われました。また、6月7日(水)には、県北教育事務所の所長が来校し、授業を参観していきました。どちらも、子どもたちの力を更に引き出せるよう、学校への指導助言を頂くものでした。本校の教職員は、指導力の向上を図ろうと真剣に研修に参加していました。



【県北教育事務所による参観】